

(2) 施策の方針

第4章 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野(3) 学校教育

施策の方針① 安全・安心で開かれた学校づくり

<目標とすべきまちの姿>

児童生徒が教職員や友人との信頼関係を築き、楽しく活気ある学校生活を送っています。家庭や地域社会が学校教育に求めるだけでなく、それぞれ本来の役割を担い児童生徒の育成を図っています。

また、学校・家庭・地域が協力して、すべての児童生徒が安心して過ごせる安全な学校づくりへの取組が進ん

1 事業評価結果一覧表

教育部

整理番号	評価対象事業名 事業名	決算値 (千円)	総事業費 (千円)	26年度 職員数 (人)	今後の方向性	
					事業内容	予算規模
教育-01	教育委員会運営事業	6,185	16,075	1.3	b	B
教育-02	事務局運営事業	86,022	111,127	3.3	b	B
教育-14	学校安全対策事業	34,152	34,895	0.1	b	B
教育-22	教職員運営事業	10,050	25,017	2.0	b	B
教育-23	学校保健事務	58,814	70,040	1.5	a	A
教育-24	就学事務	262	7,746	1.0	a	A
教育-25	学校保険事務	11,875	14,868	0.4	a	B

2 平成26年度末の目標

教育部

児童・生徒が教職員や友人との信頼関係を築き、楽しく活気ある学校生活を送れるような教育環境を整備する。学校、家庭、地域が協力して、すべての児童・生徒が安心して過ごせる安全な学校づくりへの取り組みを進める。

3 平成26年度の取組の評価

教育部

効率性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善
妥当性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善
有効性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善
公平性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善

学習環境の維持向上を図るために、教職員や学校職員の適切な配置を行った。
保健、給食、警備等の各分野において、児童・生徒の安全・安心に配慮し、質の高い公教育を受けられるような環境づくりに取り組んだ。

4 今後の方向性

教育部

中学校給食や小中一貫教育の推進等、複数年にかかる継続的な事業もあるため、今後も効率的な予算執行に努めていく。また、教育委員会制度改革の趣旨に則り、関係機関との連携を強化し、より効率的な教育行政の推進を図っていく。

5 平成27年度末の目標

教育部

学校に関わる様々な行政施策に対し、現場の状況把握に努め、学校環境の維持向上を図る。
児童・生徒の良好な教育環境を維持するため、学校や関係部局との連携を図り、計画に沿った業務の遂行に努めていく。

鎌倉市民評価委員会の評価

1 評価できるところ

- ・小学校に学校警備員を配置している。
- ・教育委員会の開催状況や教育委員の活動をツイッター等で情報発信している。
- ・教職員が児童・生徒ひとりひとりへの配慮に努力している。

2 課題・提言

- ・学校の安全対策は重要であり、警備の目があるということが防犯につながる。
- ・通学路に関しては、PTA校外委員や地域自治会などから見守りの協力を得る方向が良いのではないか。
- ・安全・安心で開かれた学校づくりを目指しているが、閉鎖的にとらえられている部分がある。
- ・学校、家庭、地域が連携をとり、オープンな関係を持つことを望む。
- ・いじめに関してきめこまかい配慮をおこたらないように。